

ご好評により『大阪』『東京』にて開催！※大阪会場、東京会場の講義内容は同じとなります。ご都合がいい会場・日程でご参加ください。

研究開発テーマ創出力向上セミナー

～ 若手・リーダーの方々に求められる

『研究開発テーマを創出するノウハウ』を解説します ～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2015年9月4日(金) 13時～17時 日時▶ 2015年9月16日(水) 13時～17時

会場▶ ホテルコンサルト新大阪 会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

ご参加頂きたい方

- R&D関連部門の若手スタッフ～リーダークラスの方
- 上記の方々をマネジメントするマネージャー層の方

講師 高収益企業支援家・弁理士 中村大介氏(株式会社如水 代表取締役)

講師紹介

立ち上げた事業を真似されて売上・利益が下がった経験、リーマン・ショックで売上が1/3になった経験を通じて、高収益でかつ安定な企業を作る必要に迫られました。高収益企業の特徴はなんだろうか？どんな施策を打っているだろうか？と考え続けています。高収益企業の特徴は研究開発にあります。経営・エンジニア・コンサルの実務経験に基づいて、様々な施策を日々生み出しています。自称高収益企業支援家です。東京大学大学院修了。弁理士

【申込書送付先】 FAX▶ 03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

受講料: 1名(資料・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

希望会場に[✓]をご記入下さい。

← 大阪開催 (9/4) 151539-1010		← 東京開催 (9/16) 151540-1010	
ふりがな 会社名			
住所			
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

- 参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- ※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。
- ※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
- お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail: kawamorita@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

プログラム

1. 日本企業と取り巻く環境の変化と研究開発の現状

- (1) 技術で勝って事業で負けていた時代
- (2) 事業で負け続けている時代
- (3) 疲弊する研究開発
- (4) 短期テーマばかりの開発

2. 顧客価値の創造という視点

- (1) 「顧客価値創造」の意味
- (2) 顧客価値創造の事例

3. 技術の延長線と組み合わせ

- (1) コア技術をどう定義するのか、定義することの意義は
- (2) エンジニアはコア技術をどう認識するか
- (3) コア技術の研究をどう続けるか

4. 質の良い情報

- (1) エンジニアが質の良い情報に触れるべき理由
- (2) 質の良い情報の例
 - ・先端ユーザーの課題
 - ・先端ユーザーの現場
 - ・未来予想の二次情報
 - ・課題情報をどう収集するのか

5. フレームワークによるテーマ発掘ノウハウ

- (1) マクロトレンドを押さえる方法
- (2) シナリオ・プランニングという手法とその使い方
- (3) エンジニアにとっての3Cフレームワークの使い方
- (4) エンジニアにとってのポジショニングの考え方
- (5) エンジニアにとってのブルーオーシャン戦略

6. ロードマッピング

- (1) 正しいロードマップの書き方
- (2) 正しいロードマップのフォーマットは?
- (3) ロードマッピングとステージゲート法の一体運用
- (4) 社会-市場-商品-技術ロードマップ
- (5) きれいなだけのロードマップに意味はない

7. リーダー業務

- (1) リーダーの仕事はメンバーを活かすこと
- (2) リーダーは、リーダーシップを依頼すること
- (3) リーダーは、次のテーマを発掘する企画者
- (4) リーダーは情報源とのコネを持つ外交家
- (5) 業務の棚卸し

8. 研究所エンジニアリング

- (1) 幹部が考える研究所ガバナンス
- (2) 理想の研究所は自治組織
- (3) 研究所幹部が研究開発の生産性を変える主役
- (4) 正しい予算の使い方

■開催にあたって■

若手～リーダーが研究開発テーマを創出する具体的な方法を解説します。

■若手の皆様へ

テーマ創出が仕事の一部であることを認識していますか？テーマ創出には方法があることをご存知でしょうか？テーマ創出はエンジニアの仕事であり、それには適切な方法があります。このセミナーでは、その方法を学び、実践するためのノウハウを解説します。

■リーダーの皆様へ

テーマを創出して、メンバーを引っ張って行っていますか？メンバーがやる気を持って働けるかどうかは、リーダーの企画・調整能力次第です。このセミナーでは、リーダーの企画力を解説します。

■マネージャーの皆様へ

若手・中堅エンジニアが不完全燃焼になっていませんか？「やりたいことができない」状態ならば、エンジニアにはハウツー教育と時間捻出が必要です。「やりたいことが分からない」状態になっている場合はモチベーションにも火を付ける必要があります。このセミナーでは、どうすればそれが出来るのか、事例に基づいて解説します。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。